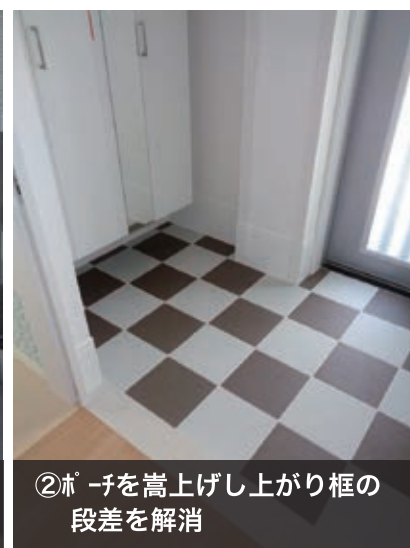
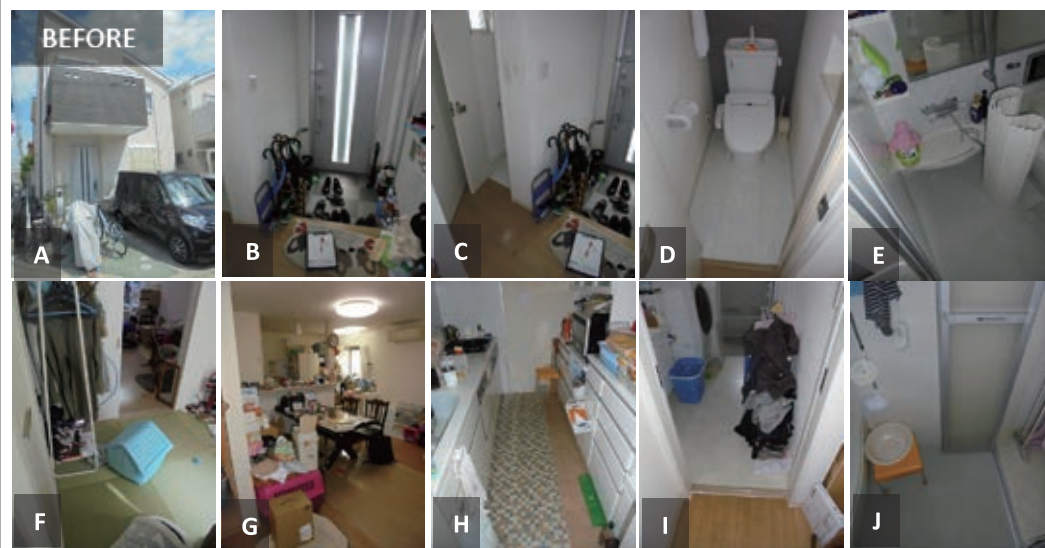


車いす生活となっても自立した生活・人生を送るために、限られた既存空間をうまくやりくりして、外出と日常生活動作の自立を助ける玄関や水回りと、「料理が楽しめるキッチン」を実現。「できる」自信で本人の笑顔と家族の安心を生み出したリフォームに拍手。

リフォーム前後の写真



①扉を引き戸に交換し 段差解消機を設置

②ポーチを嵩上げし上がり框の 段差を解消

③脱衣室の回転寸法を確保する為 洗濯機を階段下スペースに移設

④寝室に息子様専用の洗面台 を設置



⑤寝室から直接向えるように位置にトイレを 計画し大型引き戸を設置し有効開口幅を 大きく確保

⑥車椅子からトイレに移乗しやすい ように息子様の動作確認を行いながら 手すりを設置

⑦キッチンオーダーで計画し息子様の 身体状況・使い勝手に考慮して 器具位置を計画

⑧IH部の高さは調理時フライパンを回し やすい高さにするため天端の高さを 5cm低く段違いに計画

⑨浴室は拡張し、出入り口扉も 3枚引きにして有効開口幅を 大きく確保

⑩車椅子でも温まれるように座位用の シャワー入浴水栓を設置

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

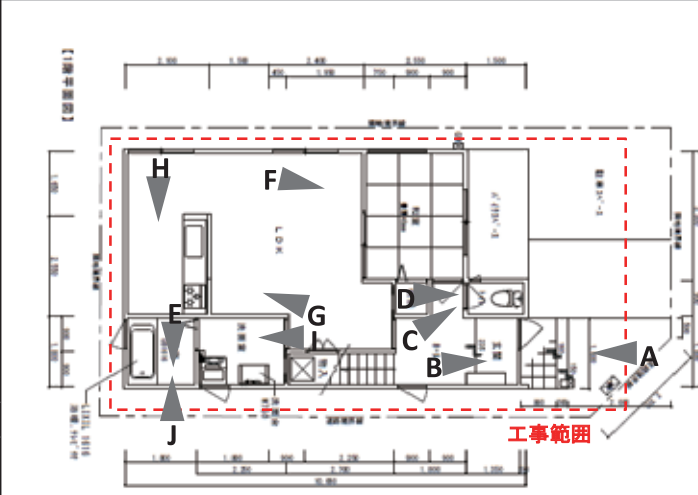
22歳の若さで突然バイクの交通事故で下半身不随の車椅子生活となってしまう息子様とそのご両親のためのリフォームです。リハビリ病院のセラピスト同席での家屋調査の際は自立生活は不可能との評価でしたが、ご本人のご両親の介助に頼らず自立した生活・自立した人生を!という強い思いの実現へむけ計画を開始した。車椅子での生活のため、段差の解消と車椅子の動線確保・自立のため水回り(トイレ・洗面台)新設。屋外アプローチ計画は駐車スペースを無くさないよう玄関からの出入りとし、ポーチを

嵩上げて段差解消機を設置し車椅子での出入りを実現した。また、ご本人の趣味であった料理を実現することにこだわり単に車椅子対応用キッチンではなく健康者向けのキッチンをオーダーで組み合わせて機器選定を行い、単に「料理ができる」ではなく「料理が楽しめる」空間を実現。自信を取り戻したご本人と「息子の笑顔が見れて幸せ。これで助けてあげられなくなる30年後の不安もなくなりました。」とお喜びいただけたとご両親。『どちらの思いもつなげられたリフォーム』となりました。

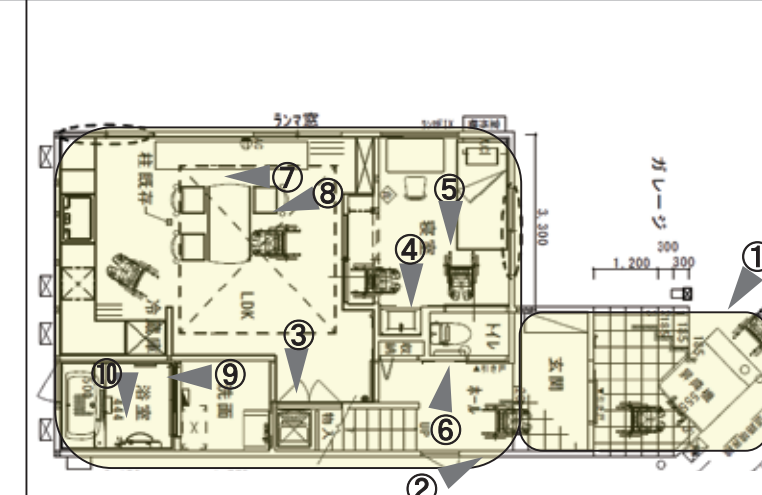
性能向上の特性	特に配慮した事項	lw 値、ls 値
バリアフリー性能、温熱性能	車椅子対応とし、ご自身のみで日常生活動作を完結できる改修とすること。	リフォーム前 リフォーム後

データ					
所在地	兵庫県西宮市	新築竣工年	2011年	築後年数	13年
該当工事床面積	60㎡	総工事床面積	60㎡	該当部分工事費	1,850万円
施工期間	60日間	総工事費	1,850万円		
居住者構成	65歳以上： 人 / 40～64歳： 2人 / 15～39歳： 3人 / 14歳以下： 人 / ペット 犬6匹				

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位： ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ ■階段/ ■玄関/ ■クローゼット/ □マンション共用部分/ □その他